



2021年5月14日

各位

会社名 株式会社 北國銀行
代表者名 取締役頭取 杖村 修司
(コード番号 8363 東証第一部)
問合せ先 執行役員
総合企画部長 菊澤 智彦
(TEL 076-263-1111)

ESGに関するマテリアリティ（優先的に取組むべき重要課題）の設定について

株式会社北國銀行（頭取 杖村 修司）は、ESGに対する基本姿勢を明確化するために、ESGに関するマテリアリティの設定を行いましたのでお知らせします。

現在、気候変動問題や新型コロナウイルス感染症などによって、「脱炭素」や「持続可能な社会」への対応は必要不可欠なものとなっております。これまでも「ESG取組み方針」に基づいて、事業活動を通じ環境や社会などのESG課題解決に取り組んでまいりましたが、こうした状況を踏まえ、取組みを一層加速させるべく、マテリアリティを設定し行動への意識を強化してまいります。今後も地域金融機関として、ESG課題解決に資する取組みを通して、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

※マテリアリティ・・・サステナビリティ経営（＝事業の持続可能性向上を図る経営）実現のために優先的に取組むべき重要課題。

記

1. ESG取組み方針について

(ESG取組み方針)

北國銀行は、事業活動を通じてESG課題の解決に積極的に取組むことで、地域社会をはじめとした全てのステークホルダーの皆さまと共に、持続可能な社会を実現することを目指します。

事業活動を通じたESG課題解決と、持続的な収益向上の好循環により、企業理念「豊かな明日へ、信頼の架け橋を～ふれあいの輪を拡げ地域と共に豊かな未来を築きます～」の実現につながると考えています。

<https://www.hokkokubank.co.jp/company/hbc/index.html>

2. ESGに関するマテリアリティの設定について

(マテリアリティ)

- ① 気候変動対応、環境保全
- ② 地域経済活性化への貢献
- ③ 地域のクオリティ向上に貢献できる人材の育成
- ④ 株主・投資家との対話による経営の透明性の向上

以上

《本件に関するお問合せ先》
総合企画部広報IRグループ 佐々木
(TEL076-223-9705)

【ESGに関するマテリアリティと具体的な取組み】

マテリアリティ（優先的に取組むべき重要課題）		具体的な取組み
E（環境）	①気候変動対応、環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・本業を通じた環境保全への取組み ・企業活動を通じた環境負荷の低減 ・気候変動対策
S（社会）	②地域経済活性化への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング機能の発揮 ・ライフプラン・資産形成サポート ・キャッシュレス社会創出への貢献 ・金融機能の安定性の維持
	③地域のクオリティ向上に貢献できる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・プロフェッショナル人材の育成 ・ワークライフバランスの充実 ・ダイバーシティの推進 ・リカレント教育への注力
G（ガバナンス）	④株主・投資家との対話による経営の透明性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを活用したコーポレート・トランスフォーメーションによる社内情報および社内議論プロセスの見える化 ・コーポレートガバナンス体制 ・リスク管理体制・コンプライアンス ・業務効率化 ・資本戦略